

内閣府沖縄総合事務局

採用区分

全区分（一般職試験（大卒程度試験））

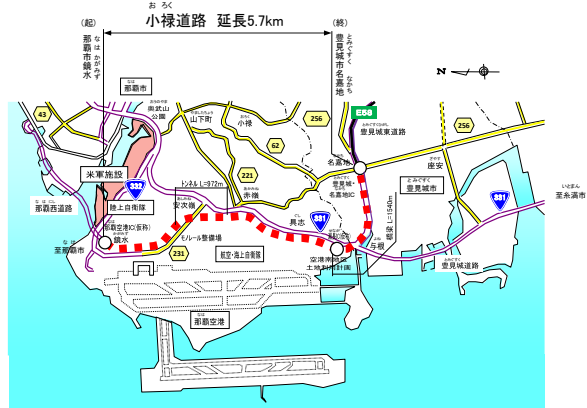
土木区分の主な業務

01 道路整備

那覇空港自動車道（小禄道路の整備）



完成イメージ図(豊見城・名嘉地IC付近)



01

那覇空港自動車道、沖縄西海岸道路等の幹線道路をはじめとする道路ネットワークの整備等を推進。地域や拠点間の連携及び空港・港湾アクセスの強化を推進し、生産性向上による成長力を強化、那覇都市圏をはじめとする交通渋滞緩和を目的として整備を推進している。

小禄道路の整備により、空港から沖縄自動車道までの高速ネットワークが形成され、空港への定時性・速達性の向上が期待される。

02 港湾整備

那覇港第二クルーズバース



平良港複合一貫輸送ターミナル



02

島しょ県である沖縄において、港湾は経済活動、県民生活、更には災害対応に欠かせない重要なインフラである。このため、物流機能強化を目指し、那覇港新港ふ頭地区において、RORO船の大型化及び取扱貨物量の増加に対応するため、新たな岸壁の整備とふ頭用地の拡張を行う。また、那覇港の臨港道路や平良港の耐震強化岸壁の整備、竹富南航路の保全・管理等にも取り組む。また、近年の大型外航クルーズ船に対応するため、那覇港、平良港及び石垣港等においてクルーズ船ターミナルの整備を推進し、沖縄県経済の発展に大きく貢献している。

那覇空港



03

将来の航空需要に適切に対応するとともに、観光立県沖縄の持続的発展に資するよう、那覇空港第二滑走路を整備した（令和2年3月供用開始）。

現在は、ターミナルビル前面の高架道路の延伸及びエプロンの新設整備等により、空港の利便性や機能向上に取り組んでいる。

先輩職員に聞く仕事の魅力！

開発建設部空港整備課

田場 悠人

2022年 沖縄総合事務局採用（電気区分）

2022年 開発建設部空港整備課 現職

那覇空港の整備で沖縄を支える



令和4年4月に入局した田場です。私が所属する空港整備課は、那覇空港の整備を行っています。その中で私が担当している業務は、滑走路増設に係る環境調査を担当しています。私は大学では電気を専攻しており、環境調査や土木について全くの専門外でしたが、職場の雰囲気良く、質問し易い環境で分かりやすく説明してもらえるので、私でも問題なく業務を行うことができました。さらに、安全パトロールのため滑走路を歩きながら点検したり、大型の航空機や工事車両を間近で見れたりなど、日常生活では得られないダイナミックで貴重な経験をすることもできます。

皆さんもぜひ、沖縄総合事務局に入局し、一緒に沖縄の玄関口である那覇空港の機能強化を進めて沖縄を発展させていきましょう！

建築区分の主な業務

04 官庁営繕

那覇第2地方合同庁舎



国立劇場おきなわ



04

「営繕」とは、建築物の新築、増築、改築、修繕、模様替え等の工事を指し、国の機関が使用する事務庁舎、研究施設、教育文化施設等の官庁施設の整備や、官庁施設が常に適正な機能を維持できるように技術的な指導を行っている。

05 公園整備

首里城正殿復元整備



沖縄美ら海水族館



05

焼失した首里城については、現在、早期復元へ向けて取り組んでおり、令和4年に正殿復元工事に着手、令和5年には正殿の柱や梁の組み立てが始まり、令和8年の正殿復元に向けて工事を進めている。また、沖縄美ら海水族館の整備等、沖縄の持続的な観光振興の中核となる施設整備を行っている。

06 国家公務員合同宿舎の建築及び維持管理

浦添住宅



石垣第四住宅

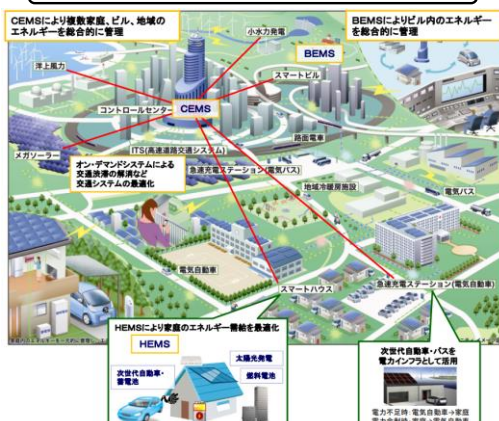


06

政策を最前線で支える国家公務員が、全国どこに配置が換わったとしても、安心して迅速に職務を遂行できるように「国家公務員合同宿舎」を整備している。

デジタル・電気・電子区分の主な業務

07 スマートコミュニティのイメージ



07

電気は、生活や産業活動を支える大切なエネルギーであるため、発電所の維持や電気事故防止対策に取り組み、平時の安定供給のみならず、災害時の早期復旧に努めている。

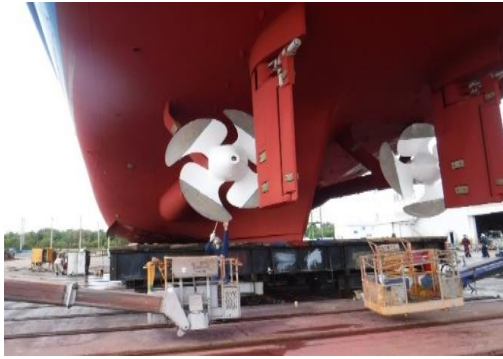
また、資源の限られた我が国において、電源の多様化や地球温暖化対策に向けて、太陽光や風力などの「再生可能エネルギー」の導入拡大を図っている。

さらに、地域分散型エネルギーの開発等を通して、スマートコミュニティの実現に向けて取り組んでいる。

(出典：資源エネルギー庁)

機械区分の主な業務

08



08

船舶の安全運航のため、船舶及び船舶の諸設備の検査を実施している。船舶検査には、定期検査のほか、中間検査、臨時検査、臨時航行検査などがある。

09



09

道路運送車両の保安基準に基づく検査を実施。自動車の検査には、新規検査、継続検査、構造等検査及び街頭検査などがある。

先輩職員に聞く仕事の魅力！

運輸部
陸運事務所（整備部門）

平良 勇登

2022年 沖縄総合事務局採用（選考）
陸運事務所 輸送部門 運輸企画専門官
2023年 陸運事務所 整備部門 陸運技術専門官
現職

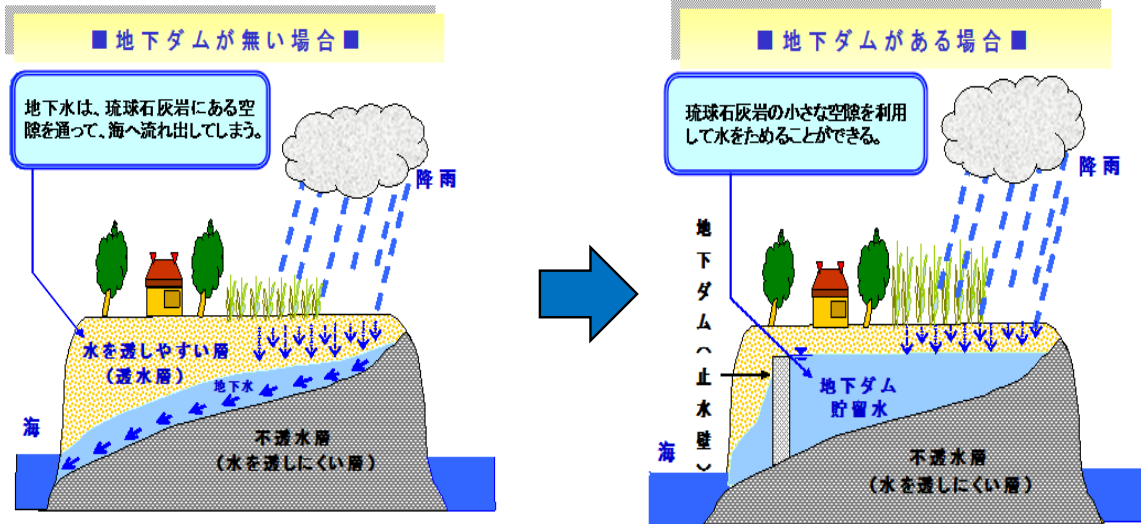


私は機械区分で採用され、運輸部の出先機関である陸運事務所の輸送部門で、事業者からの届出・許認可等の申請対応を1年経験した後、整備部門に異動になりました。現職では自動車の検査に関する申請の処理、離島等への出張検査、各種講習開催、不正改造等の排除を目的とした街頭検査等、幅広い業務に携わっています。車社会の沖縄で、業務の一つ一つが交通の安全・安心に直結しているということに、「やりがい」を感じています。

様々な業務に携わることで成長し続けることのできる環境である一方、不安や心配も出てきますが、頼れる先輩方のご指導のもと、安心して新たな業務に挑戦できる職場環境に、強く魅力を感じています。

10

地下ダムの仕組み



10

沖縄の農林水産業の振興、農山漁村の活性化を図っていくために、かんがい排水施設、集落排水施設、林道、漁港などの農林水産業の生産及び農山漁村の生活基盤の整備をはじめ、各種事業に対する助成、指導や食の安全・安心を確保するための業務を行っている。

例えば、台風や干ばつなど厳しい気象条件の中で、生産性の高い農業を実現するために必要な水源の確保のため、地下ダム等のかんがい排水施設の整備を進めている。

先輩職員に聞く仕事の魅力！

石垣島農業水利事業所

照屋 太悟

2019年 沖縄総合事務局採用（農業農村工学区分）
土地改良総合事務所

2021年 農林水産部農村振興課

2022年 石垣島農業水利事業所 現職



工事現場の立会

私は、農業農村工学区分で採用され、土地改良総合事務所や農村振興課、石垣島農業水利事業所で勤務を経験してきました。

土地改良総合事務所では、かんがい排水施設の現況調査や既に整備した施設の更新時期の計画を策定する等、施設の保全計画に関わる業務を行っていました。

現在は、石垣島北部及び西部へ新たに農業用水を送水するためのパイプライン建設工事や送水ポンプ施設の工事監督業務を行っています。

業務を行う上で技術的知識や経験を必要としますが、上司から助言をいただいたり、様々な研修に参加するなど、自己研鑽に励みながら業務に取り組んでいます。また、研修には同年代の職員が全国から参加するため、各地方の職員と交流を深められることは魅力の一つだと思います。

農学・林学区分の主な業務

11

生産施設（ハウス）の整備



防風林の造成



えのきたけの生産



11

沖縄の農林水産業の振興のため、①食料・農業・農村に関する施策の普及・地域の実態の把握、②農業・林業・水産業・食品産業の振興、③農業経営の改善、④農村・漁村・中山間地域の活性化、⑤食品表示の監視・指導と消費者行政、⑥農林水産統計の作成、など地域の実情に合った各般の施策を実施している。

具体的には、意欲のある経営体の育成に必要な生産・加工施設の整備、治山施設、漁港等のインフラ整備及び農山漁村の生活基盤の整備をはじめ、各種事業に対する助成、指導や食の安全・安心を確保するための業務を行っている。

■お問い合わせ先

内閣府沖縄総合事務局総務部人事課任用係

〒900-0006 那覇市おもろまち2丁目1番1号 那覇第2 地方合同庁舎2号館

TEL：098-866-0045

<https://www.ogb.go.jp/>

